

作成年月日：2015年3月31日

見直し年月日：2017年3月31日

## 環境目的・中期環境保全実施計画

保管期限：3年

承認	確認	作成
社長	環境管理責任者	環境管理事務局

注記：○内の数値は最終年度末の達成を評価点10点とし、各年度末の達成目標評価点。

環境目的	(2017年度) 達成指標	環境目的達成のための手段	スケジュール			実施責任者 氏名	備考
			2015年度	2016年度 (継続)	2017年度		
1. リサイクル事業の拡大	(1)リサイクル受注量の拡大 薄型テレビ・エアコンの受注量の拡大 1,917t ※対2014年度実績比1.02倍 (2014年度実績：1,884トン)	a. 家電リサイクル対象品(薄型テレビ・エアコン) Aグループ及びBグループからの受託量 拡大を目指した営業活動への注力	Aグループ受注量拡大 Bグループ受注量拡大 1,787t	→ ..... (継続) → 1,810t	→ ..... (継続) → 1,817t	辻部長	
		b. 携帯電話受注量拡大への営業活動	100t(現状維持)	→ ..... (継続) →	→ ..... (継続) →		
		c. マテリアルリサイクル品受託新規顧客開拓活動	10社	→ ..... (継続) → 10社	→ ..... (継続) → 10社		
		上記の施策等により、 対2014年度比リサイクル受注量拡大	対2014年度比1.00倍 1,887t (0.9点)	対2014年度比1.01倍 1,910t (7.9点) (継続)	対2014年度比1.02倍 1,917t (10点)		
(2)再資源化量の拡大 2,137トン ※対2014年度実績比0.89倍 (2014年度実績：2,398t) ↓(一時的な増加)で継続性が見られない) C.マテリアルリサイクル再資源化量拡大目標値修正 2016年度より550tに変更	a. 家電リサイクル対象品(薄型テレビ・エアコン) 再資源化量拡大を目指した資源売却先への営業活動	Aグループ再資源化量拡大 Bグループ再資源化量拡大 1,651t	→ ..... (継続) → 1,665t	→ ..... (継続) → 1,687t	飯塚センター長		
	b. 携帯電話再資源化量拡大への営業活動	現状維持(100t)	→ ..... (継続) →	→ ..... (継続) →			
	c. マテリアルリサイクル品再資源化量の拡大	現状維持(350t)	→ ..... (継続) → 修正550t	→ ..... (継続) →			
	上記の施策等により、 対2014年度比リサイクル受注量拡大	対2014年度比0.87倍 2,101t (11.4点)	対2014年度比0.96倍 2,315t (10.8点)	対2014年度比0.89倍 2,337t (10点)			
2. リサイクル率の向上 ※法定リサイクル率改訂 (2015年4月1日)  (3)エアコンリサイクル率目標値修正 2016年度より95.3%に変更	(1)ブラウン管テレビ リサイクル率の向上 2014年度実績：75.1% (法定リサイクル率：55%) ⇒2015～17年度…現状維持	a. プラ付金属の比率を削減する ※解体手順・解体品目の見直し ※解体工具等の見直し ※販路の再確認	→ ..... (継続) → 74.7% (10.0点)	→ ..... (継続) → 74.7% (10.0点)	飯塚センター長		
	(2)液晶・プラズマテレビ リサイクル率の向上 2014年度実績：92.5% (法定リサイクル率：74%) ⇒2015～17年度…現状維持	a. プラ付金属の比率を削減する ※解体手順・解体品目の見直し ※解体工具等の見直し ※販路の再確認	→ ..... (継続) → 85.5% (10.0点)	→ ..... (継続) → 85.5% (10.0点)			
	(3)エアコン リサイクル率の向上 2014年度実績：95.6% (法定リサイクル率：80%) ⇒2015～17年度…現状維持	a. プラ付金属の比率を削減する ※解体手順・解体品目の見直し ※解体工具等の見直し ※販路の再確認	→ ..... (継続) → 95.7% (10.0点)	→ ..... (継続) → 95.3% (10.0点)			
3. 電力使用量削減(全社) ※2014年3月LED電灯導入済	対14年度比1.5%削減(原単位) 2014年度実績：52.4KwH/トン ↓ 2017年度目標値：51.6KwH/トン	a. きめ細かな消灯の励行 b. エアコンの適正運転：原則設定温度28度 c. 各種設備・装置の無駄運転の排除 等 d. LED化による電気使用料削減 e. 新型破砕機による省電力運転	きめ細かな消灯 エアコンの適正運転： 原則設定温度28度 52.1KwH/トン 対2014年度比0.5%削減 (3.7点)	→ ..... (継続) → → ..... (継続) → → ..... (継続) → 51.8KwH/トン 対2014年度比1%削減 (7.5点) (継続)	→ ..... (継続) → 51.6KwH/トン 対2014年度比1.5%削減 (10.0点)	松川管理部長	
4. 施設見学者受入拡大	2014年度実績：312名/年 ↓ 2015年度～17年度 ：300名/年(現状維持)	a. ビックカメラエコツアー実施 b. 東京都スーパーエコツアー見学会実施 c. 家電プラント見学者受入登録 d. DVD、パンフレット等準備	ビックカメラ店舗との連携 東京都見学会担当窓口との連携 家電Bグループとの連携 2014年度実績維持 300(名) (10点)	→ ..... (継続) → → ..... (継続) → → ..... (継続) →	→ ..... (継続) → → ..... (継続) → → ..... (継続) → 300(名) (10点)		
環境目標の実績・評価	実績	実施責任者					
	評価確認	環境管理責任者					
		社長					